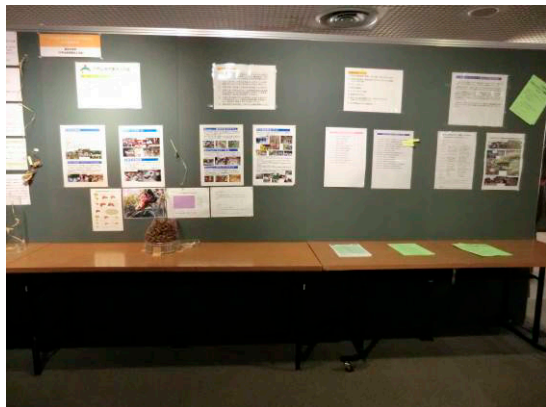


六甲山自然案内人の会の目的とその活動内容

長谷川友彦 (六甲山自然案内人の会)

当会の目的・沿革・概要及び会の事業 (①一般人を対象に、毎月行う定例自然観察会、②1年間を通して行う案内人養成研修プログラム入門コース、③小学生を中心としたグリーンサポート、④野生生物調査、⑤環境学習プログラム・イベントセミナー参加、⑥自主研修等) について紹介します。



①定例自然観察会
 より多くの人々に六甲山地の自然の素晴らしさを知ってもらおうと毎月一回一般の人々を対象に自然観察会を開催している。
 毎回20名から60名の参加があり、年間延べ約500名が参加している。
 会員を6つの班に分け、各班が年に二回担当し、観察会の企画・運営を行っている。
 観察コースに見られる植物の解説、コースにまつわる歴史の紹介など各班独自の特色を出しながら行っている。
 近年はこの観察会を楽しみにして毎回のように参加される人も多くなった。

②案内人養成講座 六甲山のエキスパート養成自然観察講座
 毎年30名ほどの人々を募集し、月一回の講座を9回設け、六甲山の生い立ち・歴史、植物・動物、主だった施設について学び、六甲山の案内人の養成を図っている。
 県立人と自然の博物館の先生方を講師に招き、充実した講座を展開させている。(平成24年度より冬季2講座を追加) 修了者には当会への入会資格が与えられる。

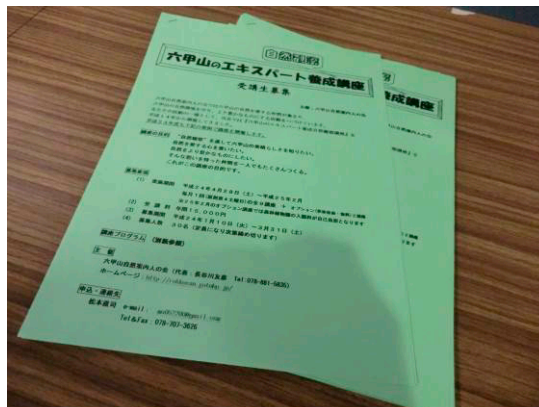
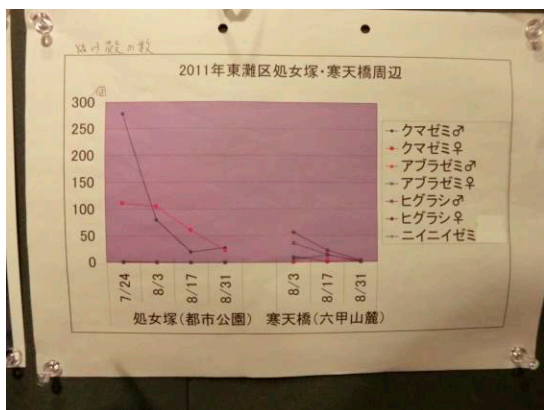


写真 展示作品